

TICKETS

AOMORI GOKAN アートフェス 2024の展覧会を鑑賞するには、周遊チケット（電子チケット）か、各館ごとに展覧会チケットを購入する必要があります。

AOMORI GOKAN アートフェス2024の展覧会を鑑賞するには、周遊チケット（電子チケット）か、各館ごとに展覧会チケットを購入する必要があります。

数量限定! **オンライン販売のみ(電子チケット)**

AOMORI GOKAN アートフェス 2024

公式ガイドブック付き5館周遊チケット
一般 | 3,700円(税込)

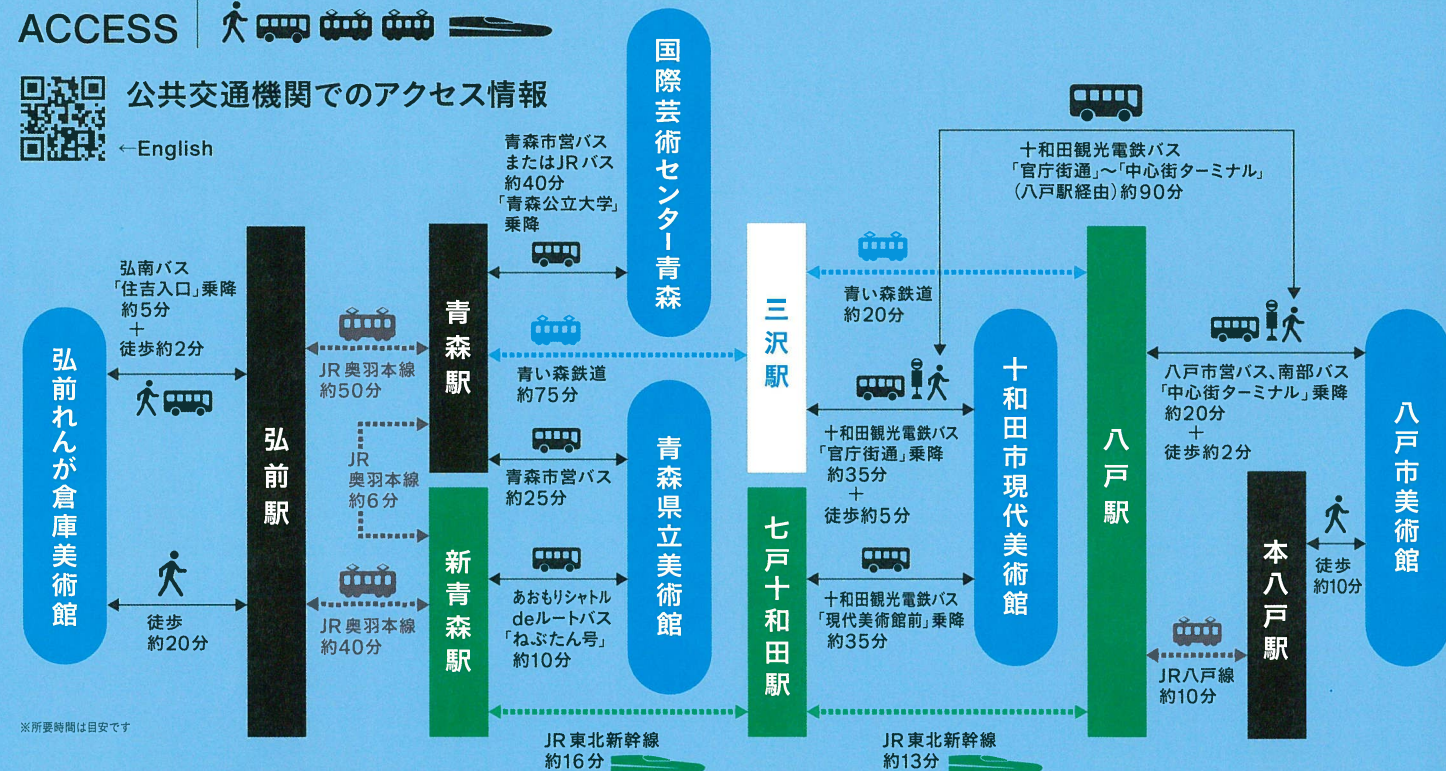
会期中、対象となる青森県の5つの美術館・アートセンターで開催する[メイン企画]をご覧ください。公式ガイドブック付き周遊チケットです。個別に購入するより1,800円お得になります。各展覧会のチケット詳細は各館WEBサイトをご確認ください。



有効期間：2024年4月13日(土)―9月1日(日)

←購入はこちらから

ACCESS



WEB

<https://aomori-artsfest.com>



対象展覧会〔メイン企画〕

【有料展覧会】

青森県立美術館『かさなりとまじわり』、コレクション展

弘前れんが倉庫美術館『蜷川実花展 with EiM: 儚くも煌めく境界』

弘前エキスチェンジ#06『白神観見考』

十和田市現代美術館『野良になる』、常設展示

【無料展覧会】

青森公立大学 国際芸術センター青森

『currents / undercurrents —いま、めくるめく流れは出会う』

八戸市美術館『エンジョイ!アートファーム!!』

【さらに特典】青森公立大学 国際芸術センター青森、八戸市美術館では、周遊チケットを窓口でご提示いただくとオリジナルグッズをプレゼントいたします。

◎周遊チケットについての注意事項

※1チケットにつき1名様のみ有効です。※一般(大人)のみの販売です。

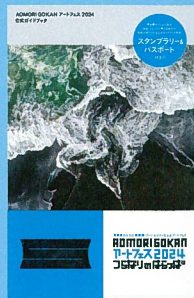
※小学生未満は大人同伴に限り入場無料です。※各館それぞれ1回のみ使用可能です。

※最初に鑑賞される館で「公式ガイドブック」をお渡しします。

GUIDE BOOK

展覧会情報や県内のおすすめスポット、モデル周遊コースなどが一冊にまとまった公式ガイドブック。美術館やフェス公認の施設やショップで様々な割引や特典が受けられる「スタンプラリー＆パスポート」付き。

AOMORI GOKAN アートフェス 2024 公式ガイドブック
 定価: 1,300 円 (税込) 2024 年 3 月 13 日発売
 各館ミュージアムショップ(青森公立大学 国際芸術センター-青森を除く)、
 青森県内の書店にて販売



“AOMORI GOKAN”プロジェクトとは

青森県内にある現代美術を楽しむ5つの美術館・アートセンター（青森県立美術館、青森公立大学 国際芸術センター青森、弘前れんが倉庫美術館、八戸市美術館、十和田市現代美術館）では、2020年から連携し、青森のアートの魅力を国内外に発信する「AOMORI GOKAN」プロジェクトを発信してきました。県民及び観光客による県内の周遊を通して文化、経済、教育など幅広い分野での地域振興を目的としています。

CONTACT

AOMORI GOKAN アートフェス 2024 実行委員会(青森県立美術館内) TEL: 017-783-3000

青森でつらなるアート体験

青森県内5つの美術館・アートセンターによるアートフェス

**AOMORI GOKAN
7-トフェス 2024
コタマリ酒はらじま**

<https://aomori-artsfest.com>



AOMORI GOKAN アートフェス2024「つらなりのはらっぱ」

メイン
企画

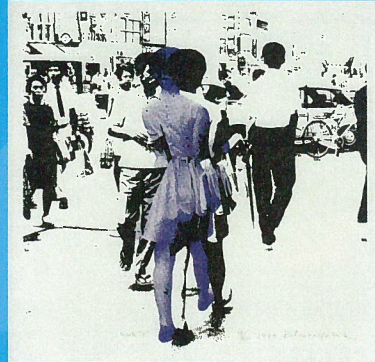
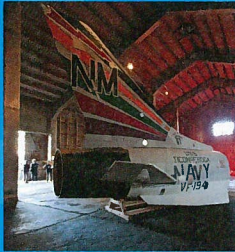
AOMORI GOKAN アートフェスは、青森県で現代美術を扱う個性豊かな5つの美術館、アートセンターが連携し開催するアートイベントです。フェスでは青森市、弘前市、八戸市、十和田市に点在し、独自の文化や歴史を培ってきた地域で活動を行う5館が、ゆるやかにつながり、その効果が県全域に波及することを目指します。2024年度のテーマは「つらなりのはらっぱ」。これは青森県立美術館の建築家、青木淳氏が提唱した「原っぱ論」を基底に、地域に根ざす5館の学芸員が集まりコンセプトやテーマを練り上げました。これは新しい文化芸術ネットワークの在り方を探り、青森県の文化的多様性と、その魅力を伝えていく試みでもあります。各館の特徴を活かした展覧会の開催や連携プロジェクトなど、アートを起点に県内各地域にある自然や食、建築など豊かな文化に触れながら青森の魅力を再発見する機会となるでしょう。



English

青

原口典之《F-8E CRUSADER》
（「十路路-CROSSROAD」
ART BASE 青森広島での展示風景）
2014年©ART BASE
MOMOSHIMA



吉田克朗《work 9》1970年 ユミコチバアソシエイツ蔵

青森県立美術館
AOMORI MUSEUM OF ART

かさなりとまじわり
layered and stitched

前期: 2024.4.13 SAT.—6.23 SUN.
後期: 2024.7.6 SAT.—9.29 SUN.

青森県立美術館の設計者である青木淳氏が提唱した「原っぱ」論を参考に、展示室をはじめとする様々な個性的空間をそれぞれの「原っぱ」と見立て、館内外の至るところでアートを発見、鑑賞、体験できる場を設けることで、展示室だけでなく、美術館全体に大きな「つらなり」を生み出していきます。

弘

弘前れんが倉庫美術館
HIROSAKI MUSEUM OF CONTEMPORARY ART

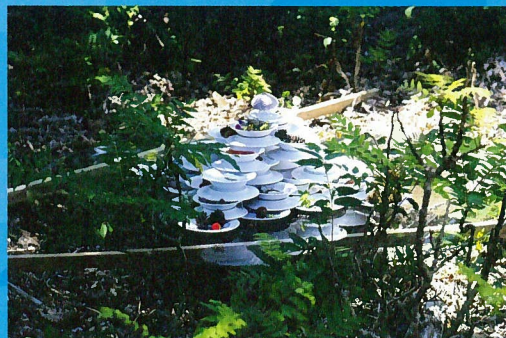
蜷川実花展 with EiM: 儚くも煌めく境界
NINAGAWA Mika with EiM: Where Humanity Meets Nature

弘前エクスチェンジ#06「白神覗見考」
Hirosaki Exchange #06 Bearing Witness to Shirakami

2024.4.6 SAT.—9.1 SUN. 写真家・映画監督の蜷川実花とクリエイティブチーム・EiMの協働による展覧会では、うつろう時間やながれゆく季節の境界を超える壮大なインスタレーションや、弘前をはじめとする桜の写真などを紹介します。白神山地をテーマに行うリサーチ・プロジェクト「白神覗見考」では、狩野哲郎、佐藤朋子、永沢碧衣、L PACK.らによる、展示や各種イベントを開催します。



蜷川実花《花、瞬く光》2022年
©mika ninagawa, Courtesy of Tomio Koyama Gallery



参考図版 狩野哲郎《21の特別な要求》2021年
Courtesy of the artist

八戸市美術館
HACHINOHE ART MUSEUM

エンジョイ!
アートファーム!!

Enjoy! Art Farm!!
2024.4.13 SAT.—9.1 SUN.

八戸市美術館のコンセプト「出会いと学びのアートファーム」を体現した企画です。八戸を拠点に活動する5人のアーティストが、絵画や版画等の様々なジャンルで、来館者と共に創るプロジェクトを展開します。絵を描いたり、トークプログラムに参加したり。「ジャイアントルーム」という空間で、様々な作品やアーティスト、活動と出会えます。



東方悠平《TENGUBUCKS Cafe in Hue - Coffee Float》2019年



5人のアーティストたち、ジャイアントルームにて（左から横島未来、東方悠平、漆畑幸男、しばやまいぬ、蜂屋雄士）

A

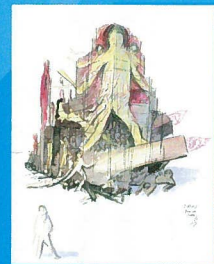
青森公立大学 国際芸術センター青森
AOMORI CONTEMPORARY ART CENTRE, AOMORI PUBLIC UNIVERSITY

currents / undercurrents
—いま、めくるめく流れは出会って

currents / undercurrents: Bringing together the endless flow

前期: 2024.4.13 SAT.—6.30 SUN. 後期: 2024.7.13 SAT.—9.29 SUN.

「現在」という意味をもちながら、海流や気流をはじめとして、ある一定の方向に動く水や空気、電流などの変わり続ける流れを示す「current」と、表面や他の流れの下にある目に見え難い流れや暗示を意味する「undercurrent」をキーワードとして、ある場所とかかわり合いながら表現をつむぎ出す国内外のアーティスト、そして青森ゆかりの表現者たちによる作品が集います。



青野文昭 新作のためのスケッチ



桑恒さくら 新作のためのスケッチ

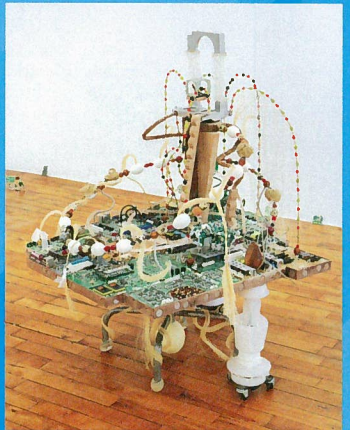
+

十和田市現代美術館
TOWADA ART CENTER

野良になる

Becoming Feral
2024.4.13 SAT.—11.17 SUN.

トランスジェンダー女性として生きるあり方を彫刻で表現する丹羽海子、研ぎ澄まされた独学の感性で風景を描く葦原蓉子、人間のコントロールと動植物の生が交錯する関係を取り上げ、映像や料理の作品を作る永田康祐、植物と人間の関係性を問い直す作品を制作するアナイス・カレニンなど、多様な視点から自然を捉えるアーティストの表現を紹介します。



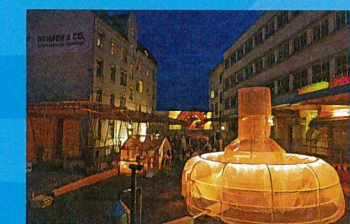
参考図版 丹羽海子 (Metropolis Series: Good Egg Community)
2022年 Courtesy the artist and Sameday, New York
撮影: Daniel Terna



参考図版 葦原蓉子《それじゃわからない》2022年
© Yoko Daihara, courtesy of Take Ninagawa, Tokyo.

GOKAN'S EVENT

栗林隆《元気炉》が5館を巡回!!
GENKI-RO by KURIBAYASHI Takashi will tour the five venues!!



栗林隆《元気炉》2022年（《数帳の外》ドクメンタ15、ドイツ・カッセル）より
photo: Rai Shizuno

アートフェスの会期後半に
本作が5館に登場します。

青 A 弘 八 +

詳細は公式WEBサイトを
参照ください

